

もうりすみともなり 両角友成県議会報告

危機管理建設委員会報告

◎建設委員会

松本市四賀地区は、2年前の10月、2つの台風が原因で地滑りが起き、いまだに国道143号取出地区は片側通行（今年10月31日復旧予定）。県道矢室明科線五常落ち水地籍は通行止め（今年12月片側通行）。



土が動いている間は工事ができない等説明は分かるが、「あまりにも遅い。」が地元の声。一刻も早く復旧をと迫りました。

答弁で地元には、五常落ち水地籍は来年3月復旧と伝えてあるが3月は完全復旧の予定であり、12月には片側通行でも通したいとのことでした。

リニア工事関係では、中川村「半の沢橋」沢から40メートル高さに架かる橋を、トンネル残土で埋め立てて橋に変わる道路を造ろうとの計画ですが、全国に例がなく危険であり、橋は橋で架け替えるべきと質しました。

答弁では、検討委員会で検討しているにとどまりました。

◎危機管理委員会

佐久地方で5月に米軍機C-130輸送機が低空飛行した問題を取り上げ、住民の不安や事故の危険性を指摘。高度解析に県は取り組めないかと質しました。

答弁では、動画等で高度解析ができるか承知していないとのことでした。

私は、県として、国に対し「県民や観光客に不安を抱かせることがないよう十分配慮すること。」等、要請しているが、これからも声を上げ続けてほしいと強く要望しました。

県が新たに6月1日よりスタートさせた「信州被災者生活再建支援制度」適用要件について、国の制度では、住宅全壊10世帯以上でなければ支援の対象にならないが、県の制度は住宅半壊1世帯以上から。しかも国の制度は、半壊は対象外ですが、県は半壊最大50万円支援します。

私は、大きな前進、県民に寄り添った制度だと評価しました。



議会運営委員会の様子（左から3番目が両角友成）

本会議では、統一地方選で公約に掲げた、国保料（税）の引き下げ実現のため、国に

（税）による1兆円規模の公費投入に

意見書（案）は、請するとしたものです。国保は年齢構成が高いことなどにより、保険料が高くなる構成的な問題を抱えている。全国知事会も求めている、国に属1人の賛成だけで、残念ながら国に上げることはできません。せんでした。今後は一般質問等で取り上げ、負担軽減のために力を尽くします。

の負担軽減」を求める意見書（案）を私が提案説明しました。

</